



◎ 自然素材で作る本

～オンリーワンの技術



永代ハウス（株） 代表取締役
松村 清一 氏

6 拠点で展開する住宅事業

現況について松村社長は、「現在当社は、佐世保本社をはじめ、福岡・長崎に2拠点ずつ、佐賀に1拠点の支店・営業所を設け、長崎県全域と北九州を除く福岡県全域、佐賀県西部を主な商圏として、木造・コンクリート住宅の設計・建設・販売、土地の販売開発、不動産業を行っています。現在一般のお客様向けの住宅としては、木造住宅が圧倒的に多く、施工全体のおよそ8割を占めており、残りを民間アパートや個人のコンクリート住宅が占めています。福岡進出は平成15年からですが、現在では前原市や糟屋郡を中心に年間50棟近い施工実績があります。また、平成17年に福岡市に開設しました「永代ハウジングパピリオン」は、外観はコンクリートですが、中には100年以上前の建物に使われていた古材を使った部屋や茅葺屋根の茶室、また、八女の伝統工芸館と提携して和紙の展示を行っているほか、沖縄や飛騨、大川などの家具職人による手作り家具、篆刻や版画などの展示をおこなっております。」と話された。

～会社概要～

永代ハウス(株)

- | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| ◆代表取締役 | 松村 清一 | |
| ◆資本金 | 40,000千円 | 昭和62年12月 |
| ◆創業 | 昭和62年12月 | 平成元年5月 |
| ◆事業内容 | 木造・コンクリート住宅の設計・建設・販売
宅地企画・造成・開発・販売
ビル建設の設計・建設
公共工事（建築・土木）
不動産取引業
テナント・賃貸マンション
経営コンサルティング | 平成2年5月
平成7年9月
平成7年11月
平成9年4月 |
| ◆従業員数 | 65名 | 平成10年3月
平成10年8月
平成11年4月 |
| ◆本社所在地 | 佐世保市松浦町4-17 | 平成13年4月 |
| ◆支店 | 長崎支店
長崎県央支店
佐賀支店
福岡本部
福岡本部西営業所 | 平成14年3月
平成15年11月
平成17年3月
平成19年5月 |

～沿革～

- 永代ハウス(株)設立
- 早岐展示場開設、早岐支店開設
- 長崎支店(現：長崎県央支店)開設
- 本社ビル建築(元町)
- 新本社ビル完成(松浦町)
- 関連会社永代商事(株)設立
- ふじみ台団地257区画分譲開始
- 万津町に展示場オープン
- 佐賀支店開設
- 佐賀木造住宅展示場オープン
- ケアハウス展示場(ふじみ台)オープン
- 長崎市に長崎支店を開設
- 佐賀支店(兼RC展示場)完成
- 福岡本部営業活動開始
- 福岡本部ハウジングパピリオン
- 新社屋開設オープン
- 福岡西営業所開設

相浦出身の松村社長は、工業高校で建築を学び、技術者として建築会社に就職した。その後住宅の営業職を経験し、27歳で新たな経験を積むべく転職し経営を学んだ。この経験を活かし、昭和62年12月、同じ会社に勤務していた4人の同志と共に、花園町において永代ハウス(株)を設立した。佐世保、諫早地区を商圏に順調に業績を伸ばし、平成8年までは、前年比増の売り上げを続けた。しかし、平成9年の消費税率5%導入の影響を受け、業績が伸び悩んだ。これを機に、時代を生き抜くために会社がすべきことを模索し、オンリーワンの技術と人材の育成に取り組み、現在の事業の柱となる、木造にこだわった家造りにたどり着いた。現在商圏は長崎県、佐賀県、福岡県に拡大し、平成19年には創業20周年を迎えた永代ハウス(株)。今回は松村社長に話を伺った。

オンリーワンの技術で 苦境を切り抜ける

「平成9年の消費税率5%導入の影響で、それまで続いていた前

●●●●●●●● 企業の人事担当者の皆様へ ●●●●●●●●

産業雇用安定センターでは、人材の確保・従業員の再就職を支援しています

- ◆業務量の一時的な減少のため、出向により従業員の雇用を確保したいとき
- ◆事業の拡大・欠員補充等による人員確保を行いたいとき
- ◆事業の整理・縮小等に伴い、人員削減せざるを得ないとき

物志向の木造住宅

と人材を活かして～

永代ハウス（株）



本社屋

年比増の売り上げに落ち込みが起きました。その際、当社がこれから生き残っていくためには何をすべきなのかを模索しました。そして、知人の助言から当社に今後必要なのはオンリーワンの技術と人づくりであると考え、まず平成10年よりコンクリート住宅の建設を開始しました。しかし、コンクリート住宅は、建物自体が大型になるため、限られた客層となり、受注件数の伸びには至りませんでした。結露するというコンクリートの欠点を見直し、構造はコンクリートで内装が無垢材という木装コンクリート住宅を建設したところ、県内で好評であったため、これを足がかりに福岡へ進出しました。また、受注の8割がお客様からの紹介という東北の住宅会社を参考に、本当のオンリーワンとは何かを考え、住宅建設の基本にかえり、日本の気候に適した木造住宅を、昔ながらの技術で作

り上げることを目指しました。そこから天然素材を活かした木造住宅の建設を始め、現在では受注も好調でお客様の方から見学に来ていただくようになり、受注単価も以前より上がる結果となりました。」

若い人材の育成で目指す 更なる事業の拡大

「当社の人材育成は、Off-JT（職場外教育）とOJT（職場内教育）の2つに分け実施しています。昇格の際には社外での研修を実施していますが、その他の場合は、主に社内での各部署毎の会議や研修を活用しております。社会人としての教育は勿論ですが、人としての教育にも力を入れております。物事は、個々人の判断基準で答えが変わってきますので、個人の過去の経験だけで判断していくのではなく、会社の方針として意思統

一した基準で判断出来るよう常に指導しています。

今後の目標としては、こうして育てた社員が各支店で経験を積み、1人1人が経営者としての自覚で会社を成長させていく事を期待しています。販売面では、まず福岡圏で年間100棟の施工を目指し、受注の安定を図っていきたいと考えております。将来的には九州外への進出も視野に入れ、年商60億の達成を目標として取り組んでいきます。そして、若い人材が会社をもり立てていくためのバックアップをしていきたいと考えております。」と話された。

事業のみならず、YOSAKOIさせば祭りへの支援や周年行事として植樹活動や老人ホームでのボランティアも行うなど地域貢献にも精力的な永代ハウス(株)。今後の活躍に期待したい。



博多区にある永代ハウジングパビリオン



パビリオン内の古材を使った部屋

事業主の皆様へ 商工会議所のマル経資金

マル経資金(小規模事業者経営改善資金)

1,000万円

無担保、無保証人、低利率

■一定要件を満たす融資対象事業所に対し、佐世保市の利子補給補助金が支給されます。

- ① 1年目(12ヶ月相当分)の利子支払い総額の50%が補助されます。
- ② 但し、利子補給制度額は1企業10万円を限度とします。

■融資条件

融資限度額：1000万円

利率：年2.20%(平成20年12月10日現在)

返済期間：運転資金5年以内、設備資金7年以内

担保・保証人：不要(保証協会の保証も不要です)

●お問い合わせ先 佐世保商工会議所中小企業振興部 TEL 22-6121